

発行所 東京都新宿区左門町11番地6の101  
〒160-0017  
社団法人 大学婦人協会  
電話 03-3358-2882  
FAX 03-3358-2889  
http://www3.tky3web.ne.jp/~jauw/  
E-mail:jauw@tky2.3web.ne.jp  
発行人 今井 けい  
編集責任者 松本 佳子

# J A U W

## おもな記事

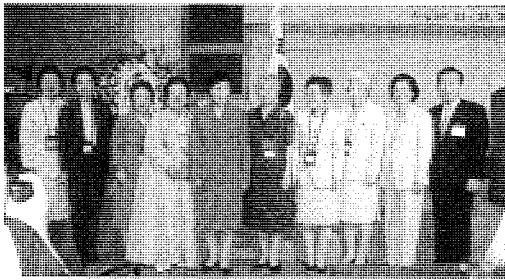
- 1面 全国セミナー「女性と情報社会—その光と影—」、全国セミナーを終えて、UWA総会報告、新企画募集
- 2～3面 基調講演要旨、研究報告概要
- 4面 つくば国際会議場見学記、古都扶余・慶州を巡る、支部だより、新春のつどいのご案内、新入会員

### 第6回UWA(アジア大学婦人連盟)総会報告

—9カ国、日本からは44名が参加—

2002. 8. 21、22、23. ソウル

前国際委員長 平野 和子



会議場で、青木IFUW会長(右から5人目)を囲む韓国の要人

3年前の日本開催まで、その存在さえほとんど知られていなかったUWA総会に44名もの会員が参加する。そのことに担当責任者として特別の感慨を覚え、喜びを胸に会場へ向かう。梨花女子大学での歓迎式には大統領夫人寄贈の花が飾られ、女性省大臣や国会議員等、韓国政界の重責を担う女性たちの祝辞が続き、KAUW(韓国大学婦人協会)の存在価値の高さを実感させた。その一方で、IFUW会長ならではのグローバルな視点に

立つ青木怜子会長のスピーチは、JAUW会員の耳にとりわけ感銘深く響いたことだろう。会議初日、リーダーシップについてのパネルで、房野桂会員が「日本政界の女性リーダーシップの動き」を中心に発表した。午後は男女平等啓発教育についての論文発表が行われ、未加盟の台湾代表2名が加わって新鮮味を添えた。その後、女性省、議会内の女性問題委員会、女性開発研究所、大学内の女性学研究所の4カ所に分かれて見学し、夕食にも招待されて、会員間の交流を深めた。

2日目は、雇用と起業、平和の文化という2グループに分かれて発表・討論が行われた後、KAUWの本部事務所で、活動の歴史をまとめたビデオを見せてもらい、私たちも見習いたいものと思った。次いで同協会が運営する併設の人材開発センターを見学し、調理実習、語学やコンピューターの研修等、女性の雇用と地位向上を促す実践的な活動に敬服した。



会場(梨花女子大学)の横断幕の前で、JAUWの会員たち

別れの夕べには、バングラデシュ、インド、インドネシア、日本、モンゴル、ネパール、パキスタン、タイ、韓国からの参加者150名余りが集い、楽しい余興に友好を深めつつ、次回ネパールでの再会を誓った。韓国の熱意あふれる、すばらしい総会だった。

### 発表I「男女平等教育についてのJAUWセミナーと茨城支部のプロジェクトについて」

国際委員会 平野 和子 茨城支部 城倉 純子

発表の狙いは2つあった。今総会の開催目的の第一に掲げられた「男女共同参画社会の確立のために教育による戦略を推進する」が、IFUWオタワ総会に提出したJAUWの決議に沿うものであったことから、決議の土台となった、JAUWの過去4年間のセミナーを総括し、JAUWの活動について報告すること。そしてオタワ総会のNFA(各国連盟・協会)活性化のためのトレーニングキャンプで、NFAの活動として、セミナーや研究発表だけでは意味がなく、会員自身の実践的な活動こそ主軸にすべきだと強調されたことを踏まえ、茨城支部が男女平等啓発教育についてのパンフレットを作成し、家庭や学校での意識啓発を促す実践活動をしている事実を紹介することだった。

JAUWのセミナーについて平野が紹介した後、城倉会員が、「あたりまえという前に考えてみませんか、男女平等」というパンフレットの英訳版を参考に、活動の経緯、パンフレットの活用方法、今後の展望を紹介し、7項目のメッセージを伝えて発表を締めくくった。慣れない英語での発表で未熟な面はあったが、JAUWの活動の一端を紹介できたことは有意義な成果であったと信じた。

### 発表II「テレビアニメが子どものジェンダー観に及ぼす影響とメディア・リテラシーを推進する必要性」

教育委員会 藤村 久美子 伊藤 めぐみ

教育委員会は、子どものジェンダー観の形成にテレビで放送されているアニメ番組の与える影響が大きいと考え、その影響を具体的に把握するため、2年間各支部の協力も得て調査を行った。調査によると、①ジェンダーの視点から、アニメ視聴について配慮している親は少ない。②子どもたちが好んで見ている「ポケモン」「遊戯王」「おジャ魔女どれみ#」の内容を仔細に分析すると、さまざまな点でステレオタイプの男女のあり方が描かれている。③子どもたちは同性のキャラクターを好み、その理由は、女子は「かわいい」であり男子は「かっこいい」である。④特に若く美しいことが女性の大きな価値であるようなメッセージが送られている、などの結果を得た。

今年度は以上の調査から、子どもの教育にかかわる人たちがジェンダーの視点から批判的に見る能力—メディア・リテラシーを獲得することが重要であると考え、調査結果を伝える活動を展開している。以上を報告した後、タイの会員から日本製のポルノ漫画の影響の大きさについて指摘があり、この現状に対してメディア・リテラシーの必要性が確認された。また、韓国や台湾などの会員からは、「日本のアニメは各国で大変人気が高く、このようにジェンダーの視点から分析する必要がある、非常に興味深い研究だ」といった共感を示す反応が寄せられた。

## 2002年度JAUW全国セミナー 「女性と情報社会—その光と影—」

ICTと女性をめぐる諸問題

10月5日(土)・6日(日)

独立行政法人 国立女性教育会館にて

### ICTに強い会員

会長 今井 けい

今年のセミナーは、パワーポイントによるカラフルな映像が大スクリーンに映し出されることから始まりました。約1200人を対象とする、ICTに関するアンケートの結果です。会員のICT利用者が回答者数の8割を超えることが示され、改めて会員の新技術に対する関心の高さに意を強くしました。

「利用する情報」に示された教育・女性問題への関心も、JAUWの特徴を再度認識させました。今回の全国セミナーのテーマは「ICTと女性」であり、準備期間も短かったが、冒頭の発見をはじめそれなりの成果があったと思います。

第一に、セミナーが「ICT」になることにより、4月に発足した情報委員会もより、JAUWの目的が自らのICT化に向けられたことでしょう。本部のホームページの充実や、本部と支部のICTによる連携の強化が始まりました。

第二にセミナー自身の内容としては、男女共同参画社会実現のためにICTをいかに活用すべきかについて検討されたことがあげられます。情報の選択・収集(情報リテラシーの向上)や、女性に有益な情報をいかに提供するか話し合われました。その中でヤングメンバーが「女性と年金」に関する情報の検索の仕

方をも具体的に示されたことは、非常に有益でした。第三に、JAUWの新しい活動形態が提示されたことですが、それは、従来の関係省庁・地方自治体への政策提言とは異なり、直接、社会に貢献するスタイルでした。現在問題となっている総合学習、あるいはマスメディアにおける性差別是正のための草の根的活動の中で開発されたものと言え

ましよう。以上のように、今回のセミナーはJAUWの今後の活動の手段(ツール=ICT)、内容(两性の平等)、活動の形態についてなど、まだ萌芽的ではありますが、重要な主題が指摘された意味深いものでした。

今後これらの示唆に基づき、JAUWの活動が社会の要請により良く応えられればと思います。

### 全国セミナーを終えて

企画委員長 小西 厚子



セミナー会場風景

今年度の参加者は、会員162名、一般10名、職員1名、合計173名だった。会長の挨拶につづき、来賓の佐藤和寿内閣府男女共同参画局長、渡部徹文部科学省生涯学習政策局長、大野曜国立女性教育会館理事長および青木怜子IFUW会長よりご挨拶をいただいた。

1日目は、企画・情報委員会が行ったICT機器についてのアンケート調査の結果報告と、7支部3委員会による調査・研究発表、武蔵大学教授小玉美恵子氏の基調講演が行われた。

午前中の発表をお聞きくださった来賓から、これらの調査研究結果をぜひ広く社会に発信してほしいとのこと、心強い励みになった。また、研究発表の多くがパソコンのソフト(パワーポイント)を使用して発表されたことは、ICTの利用方法を実践した成果であった。小玉氏による基調講演では、セミナーのテーマである「ICTと女性」をめぐる「光と影」の問題点をわかりやすく説明していただいた。

第1日の午後6時から行われた懇親会は、中村道子会員の乾杯に始まり、歓談の合間に各支部の参加者の挨拶があり、楽しく和やかな交流の時間を持つことができた。

### 新企画募集

全国セミナーに対する国庫補助(平成14年度約150万円)、平成17年度から廃止! 現在のセミナーに代わるJAUWのニュー・アイデアを募集します。

2002年12月26日までに、本部までお寄せ下さい。  
Tel: 03-3358-2882 / Fax: 03-3358-2889 E-mail: jauw@tky2.3web.ne.jp

会長 今井 けい

セミナーには、今年度期増す研究発表の参加を期待しています。

### 【セミナー基調講演要旨】 女性とICT—その光と影—

武蔵大学教授・社会学部長  
小玉 美意子 氏



現在、よく「IT」と言われているが、「ICT」とつまりITとTを結ぶC (Communication) が非常に大切である。

本日のテーマに従ってその光の部分を考えてみると、まず「起業」ということがいえる。ICTを利用して起業で成功した知人を見ると、コミュニケーションの心と能力の大切さがわかる。私が仕事を依頼したことのある「アイキューブつくば」という所では、ICTを生かして、語学力のある女性が化学・物理・数学など多方面な知識を活用して翻訳をしている。

次にSOHO (Small Office, Home Office) 在宅能力のある女性が大企業

ではあまり採用されていないという問題がある。特に幹部候補生としての採用がないことが、能力のある女性を起業に向かわせているという日本の現状を映し出している影の部分である。起業で成功した女性が、まだ男性社会であるメディアでは大きく取り上げられるということがある。男性では当たり前とされるのが女性の場合には大きく取り上げられ、起業で成功した女性が多いように思われるのである。成功しなかった例も多くある。

女性が起業する際の障害として、社会の性差別慣行というのがある。事業を始めるため資金を借りようとしても、男性に比べ女性への融資が簡単には行われぬという現実がある。今後女性もつつと起業し、社会が支援していくシステムができることを期待している。

SOHOについてみると、男は外、女は内という性別固定観念を前提とした性別役割分業観というものがあふれている。また締め切りに迫られた長時間労働、倒れたときの社会保障がないなどの問題がある。ILOが採択している「在宅就業者と雇用者との待遇格差の改善を目指す」という条約を、日本は批准していない。これは批准していかないという格差の大きい日本社会では、SOHOの働き方は女性にとって損な部分もある。

NGO・NPOも活動自体は有意義であるが、本来は国や自治体で行うべきものも多い。これらの活動を政府の雇用で行うの増大することを考える。このままでは女性にとって損ではないかと考える。男性中心に発達しているともいえるICTが、女性やハンディキャップを持つ人のため、そして地域格差是正のため有利な材料となつてもらいたい。

1993年に出席したバンコクの会議では、

「女性のエンパワメントを女性のエンパワメントにつなげていくかという大きな問題ではないかと思う。」

(広報委員 百束礼子)

「お茶の水女子大学卒業。元フジテレビアナウンサー。サンフランシスコ州立大学(修士)、お茶の水女子大学大学院人間文化研究科博士課程修了。専攻、テレビジャーナリズム論、ジェンダーとメディア論。映画制作委員、BSフジ番組審査委員。

勤講師として活躍されてきた。永年の経験から、究・活動としてのビジネスと女性がICT産業に進出するために、インターネット/マルチメディア設立を提案している。

静岡支部では、男女共がある。同参画社会における女性の働き方という視点から女性SOHOワーカーの現状を把握し、新しい職能としてのメリットと問題点を、アンケート調査、座談会を行う。

1. 自分のペースで、したい時間に仕事ができる。精神的・肉体的にゆとりが持て、子育てと両立可能。好き、やりがいがあり、社会と接する機会となり、広い視野が持て、在宅でも、遠隔地でも可能である。

2. 回答者は主に20代・30代であり、M字型労働力率の谷間の世代である。結婚出産で離職したスキルアップ、顧客の開層にとって、職域の拡大・社会参画の上で意義が必要である。

1. アンケート「ICTと女性」特に「メール」利用が高い。女性は男性より利用の結果

利用状況は「メール」の受発信が中心で約65%。次いで「交通機関連の」確認」。男性は

度は低く、男性を上回っている。永年の経験から、究・活動としてのビジネスと女性がICT産業に進出するために、インターネット/マルチメディア設立を提案している。

静岡支部 越村 とくゑ

同参画社会における女性の働き方という視点から女性SOHOワーカーの現状を把握し、新しい職能としてのメリットと問題点を、アンケート調査、座談会を行う。

1. 自分のペースで、したい時間に仕事ができる。精神的・肉体的にゆとりが持て、子育てと両立可能。好き、やりがいがあり、社会と接する機会となり、広い視野が持て、在宅でも、遠隔地でも可能である。

2. 回答者は主に20代・30代であり、M字型労働力率の谷間の世代である。結婚出産で離職したスキルアップ、顧客の開層にとって、職域の拡大・社会参画の上で意義が必要である。

1. アンケート「ICTと女性」特に「メール」利用が高い。女性は男性より利用の結果

利用状況は「メール」の受発信が中心で約65%。次いで「交通機関連の」確認」。男性は

度は低く、男性を上回っている。永年の経験から、究・活動としてのビジネスと女性がICT産業に進出するために、インターネット/マルチメディア設立を提案している。

静岡支部 越村 とくゑ

同参画社会における女性の働き方という視点から女性SOHOワーカーの現状を把握し、新しい職能としてのメリットと問題点を、アンケート調査、座談会を行う。

1. 自分のペースで、したい時間に仕事ができる。精神的・肉体的にゆとりが持て、子育てと両立可能。好き、やりがいがあり、社会と接する機会となり、広い視野が持て、在宅でも、遠隔地でも可能である。

2. 回答者は主に20代・30代であり、M字型労働力率の谷間の世代である。結婚出産で離職したスキルアップ、顧客の開層にとって、職域の拡大・社会参画の上で意義が必要である。

1. アンケート「ICTと女性」特に「メール」利用が高い。女性は男性より利用の結果

利用状況は「メール」の受発信が中心で約65%。次いで「交通機関連の」確認」。男性は

度は低く、男性を上回っている。永年の経験から、究・活動としてのビジネスと女性がICT産業に進出するために、インターネット/マルチメディア設立を提案している。

静岡支部 越村 とくゑ

同参画社会における女性の働き方という視点から女性SOHOワーカーの現状を把握し、新しい職能としてのメリットと問題点を、アンケート調査、座談会を行う。

1. 自分のペースで、したい時間に仕事ができる。精神的・肉体的にゆとりが持て、子育てと両立可能。好き、やりがいがあり、社会と接する機会となり、広い視野が持て、在宅でも、遠隔地でも可能である。

2. 回答者は主に20代・30代であり、M字型労働力率の谷間の世代である。結婚出産で離職したスキルアップ、顧客の開層にとって、職域の拡大・社会参画の上で意義が必要である。

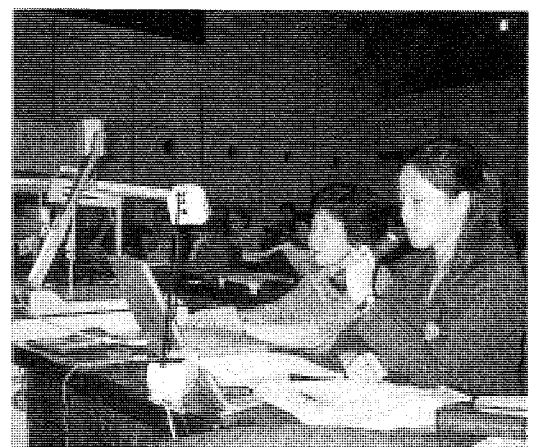
1. アンケート「ICTと女性」特に「メール」利用が高い。女性は男性より利用の結果

利用状況は「メール」の受発信が中心で約65%。次いで「交通機関連の」確認」。男性は

度は低く、男性を上回っている。永年の経験から、究・活動としてのビジネスと女性がICT産業に進出するために、インターネット/マルチメディア設立を提案している。

静岡支部 越村 とくゑ

勤講師として活躍されてきた。永年の経験から、究・活動としてのビジネスと女性がICT産業に進出するために、インターネット/マルチメディア設立を提案している。



パワーポイントを使ってフロアから研究発表。セミナーのテーマに就いて熱心に取り組む会員たち(女性の地位委員会)

静岡支部では、男女共がある。同参画社会における女性の働き方という視点から女性SOHOワーカーの現状を把握し、新しい職能としてのメリットと問題点を、アンケート調査、座談会を行う。

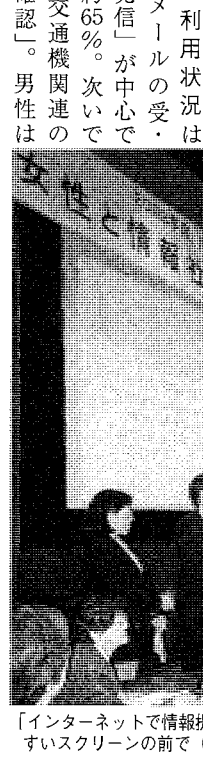
1. 自分のペースで、したい時間に仕事ができる。精神的・肉体的にゆとりが持て、子育てと両立可能。好き、やりがいがあり、社会と接する機会となり、広い視野が持て、在宅でも、遠隔地でも可能である。

1. アンケート「ICTと女性」特に「メール」利用が高い。女性は男性より利用の結果

利用状況は「メール」の受発信が中心で約65%。次いで「交通機関連の」確認」。男性は

度は低く、男性を上回っている。永年の経験から、究・活動としてのビジネスと女性がICT産業に進出するために、インターネット/マルチメディア設立を提案している。

静岡支部 越村 とくゑ



「インターネットで情報提供を」パワーポイントによる見やすいスクリーンの前で(女性と社会)

### ICT関連機器の普及と現状

企画委員会 小西厚子  
情報委員会 井口美登利

企画委員会と情報委員会は、会員を中心に、ICT機器がどのように活用されているかをアンケート調査した結果を発表しました。アンケート調査した結果を発表しました。アンケート調査した結果を発表しました。

### 女性のICT産業への進出状況

女性の地位委員会 増 潤 民 子

「ICTと女性の職業」性の職域を拡大するについて、「ICTは女性」というテーマを追

### 女性のICT産業への進出状況

「ICTと女性の職業」性の職域を拡大するについて、「ICTは女性」というテーマを追

「ICTと女性の職業」性の職域を拡大するについて、「ICTは女性」というテーマを追

### 女性のICT産業への進出状況

「ICTと女性の職業」性の職域を拡大するについて、「ICTは女性」というテーマを追

「ICTと女性の職業」性の職域を拡大するについて、「ICTは女性」というテーマを追

### ICT時代における「総合的な学習の時間」

—なぜ「総合的な学習の時間」か—

京都支部 中村 泰子

今春から導入された総合学習の目的が、「自ら課題を見つけて、学び、問題を解決する力を育てる」ことにあるのは、昨今の子どもたちにはそれが欠けていることを示している。京都支部は、根本的な理念の転換を求め、今回の教育改革を、どうすれば学校・教師・地域が連携してより効果的にすることができるとかという問題に取り組んだ。また社会全体に広がるICTが総合学習の中でどのように有効な道具になり得るかも検討した。

宿題は過半数が30分ですませ、自主的に勉強する子どもは3割、放課後はテレビやゲームに時間を費やす。支部のアンケートに表れた子どもたちの現状である。その中で、児童が選んだ課題を適切に

### ICTにおける男女間の情報リテラシー格差

新潟支部 小林 裕子

男女間の情報リテラシー格差が、どのようなところに、どの程度生じているかについて、新潟市を中心とした県内の一般男女400人を対象にアンケート調査を実施、260人から得た回答を分析、検討した。

情報リテラシーは、充実した生活のために情報を活用する能力と、その能力を駆使して必要な情報を手に入れる情報利用技術の二つからなる。その内容を8項目、23設問で調べた。

自己実現欲求、社会や人間に対する関心、情報収集・処理・発信に関する

働く女性は3分の1であり、この就業形態の差が、利用技術の格差につながっていると思われる。30代、40代の女性の情報リテラシーが概して、その原因をさらに探ることで、より明確な格差の根源を知ることができるとはならないかと考える。

### ICTと女性の未来

愛知支部 柳堀 朗子

本研究の目的は、シニア世代に行ったインターネットに関する使用実態や意識調査から、この世代におけるICTの持つ意味と、女性の未来の考察であった。調査は50歳以上の男女各100名を対象に、「シニア世代のICT技術の活用に関する調査」と題する調査票を支部会員が配り、郵送法で回収した。152名から回答を得、有効回答は139名(男44%、女56%)。

その結果、携帯電話やパソコンの保有に男女や年齢で差がみられ、ハードの面で高齢女性を取り残される可能性は否定できなかつた。高齢女性では、インターネットへの興味や必要性、認知度が低く、機器に関する不安感が高いことがインターネット

### ICTによる情報と女性の権利

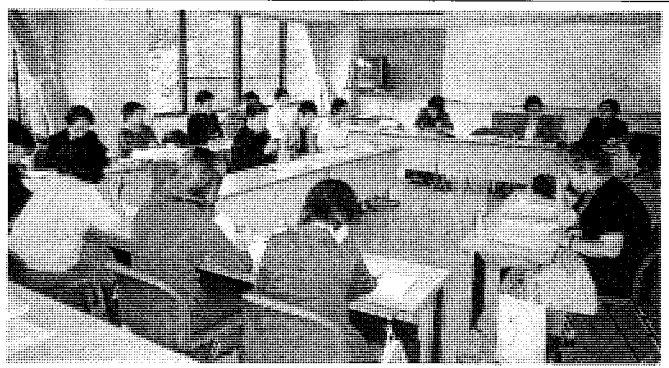
神戸支部 平井 典子

北京会議においてメディアと女性の行動綱領が採択されたにもかかわらず、今、高度情報社会におけるマスメディアは依然として、ステレオタイプ表現で女性差別を放出しつづけている。神戸支部では本年度の研究課題として、男女共同参画社会実現への大きな障害となる「メディアにおける女性の人権問題」を取り

上げ、男性77名、神戸支部会員72名のアンケート回答による「メディアに

報発信を考察した。

ICTオルタナティブ・メディアは、阪神淡路大震災における、市民からのさまざまな日常必需品の強手手段として、重要な性を社会の中で認知されたものである。その後、従来のマスメディアの中では十分に生かされ



第1分科会「ICTと男女共同参画社会」。3つの分科会とも、活発な意見交換が行われた。

### ICTによる情報は男女平等か

—ジェンダーの視点から見たメディア・リテラシー—

教育委員会 伊藤 めぐみ

教育委員会は、子どもとジェンダーの形成に与えるメディアの影響は大きいと考え、特に子ども

の視聴時間が長いアニメに基づいたメディア・リテラシーを獲得してもらうことが必要であると考

え、子育て支援者や教師・保護者を対象としたワークショップ活動を、横浜・松戸で実践した。

### ICTとNGO活動

国内NGO委員会 斉藤 加代子

男女共同参画社会の実現に向けて活動を続けて

いる民間女性団体は、ネットワーク社会にどのように対応しているのか、あるいは、しようとしているの

は、しよとして情報の活用度が高い団体は諸経費も軽減し、活動もさらに活性化している様子がうかがえた。ICTが各団体の連携を深め、男女共同参画社会形成に向けて活動するうえで有用なツールになるということ

### ICT活用による政策情報の共有化

—女性と年金をめぐる政府検討会資料を用いたホームページ開設までの実例—

http://www.jcaapc.org/~yri-jaw/index.htm

2002年度JAUW若手会費助成金助成プロジェクト「女性と年金をめぐる政府検討会資料を用いたホームページ開設までの実例」

皆さんのなかには、うに「しおり」を付け、諸々の問題意識をもって、広く女性と情報共有を！と考へ、その方法を採している方も多

に認可されたAPCより「少なくとも文書情報に関する限り、海外にいた人が系統的な情報を得ていたかもしれない」という停業を達成し

「七ミナー」研究報告の執筆は文責で、当日の発表者とは必ずしも同じではありません。

分科会・全体討議など七ミナーの詳細は、七ミナー報告書(来年3月発行)に掲載されます。

七ミナー終了後、臨時拡大理事会が開かれました。青木、丸山元会長はじめ理事と現理事、合わせて23名が出席し、平成17年度からの全国七ミナーに代わる事業について話し合いがもたれました。

### 【七ミナーに参加して】

今年の七ミナーには、静岡県の女性総合センター「アザレア」から5人の方が参加してくださった。そのお一人、第3分科会に出席した重間さんは「素晴らしい輝いている会員のみなさまにお会いできて本当に楽しい二日間でした」活躍に期待するあまりきついことなども、の添え書きとともに、感想を寄せてくださった。

### 平和活用と警鐘を!

三島市 重間 良子

パソコンを持つこと、駆使できることが重要ではなく、持っているならどう活用しているか、たとえ持っているなくてもどう生きているかが大切なことではないでしょうか?

私たちは便利さを追求するあまり、この美しい地球をすっかり汚し、どうやら、子どもたちの教育もあやまつてしまったようです。前世代の親たちが悲惨な戦争を越えて死守した平和、美しい地球環境、慈しみ育ててくれた心、今、こんな形でしか次代に引き継ぐことができないことが私には悲しい。

人間はあまりにも傲慢になりすぎました。大自然にもっと畏敬の念と謙虚さを持つべきです。機械崇拜社会

JAUW新春のつどい

恒例「新春のつどい」のお誘いの時期となりました。「国内奨学金贈呈式」(国内奨学委員会、社会福祉委員会、東京支部共催)も例年どおりです。意欲あふれる奨学生たちの感動的なスピーチに耳をかたむけましょう。初めての方も、久々の方も、奨学生ともどもゆっくりとお食事をしながら懇親を深め、佳き新春の一時を楽しく過ごしたくご案内申し上げます。

日時 2003年1月11日(土) 11:00~14:00
場所 京王プラザホテル 南館4F 「扇の間」
TEL:03-3344-0111
会費 10,000円
申込先 (社)大学婦人協会本部事務所
Tel:03-3358-2882 Fax:03-3358-2889
E-mail:jauw@tky2.3web.ne.jp

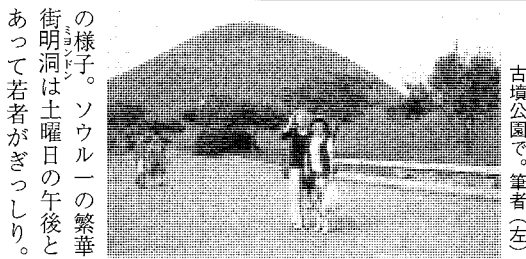
締切日 2002年12月18日(水)
振込先 東京三菱銀行四谷支店
普通預金・口座番号1077777
別口 (社)大学婦人協会 理事 今井 けい
\*財務委員会のバザーを行います。寄贈品のご協力とお買い物のご協力お願い申し上げます。



写真=VIP用会議室で説明をきく。

「感情による図書検索システム」は、まさに目から鱗

UWA総会後の3日間
の韓国バスツアーはソウルの朝鮮王朝最初の王宮景福宮から始まった。



古墳公園で。筆者(左)

の様子。ソウルの繁華街明洞は土曜日の午後とあって若者がぎっしり。

つくば国際会議場見学記

女性の地位委員会 高田素子
7月25日の早朝、東京駅をマイクロバスで発った我々一行24名は、一時間程で、最初の訪問先の「つくば国際会議場」に到着しました。

最後の訪問先は、「つくば情報通信研究開発支援センター」。光ファイバーによる超高速通信回線網「ギガビットネットワーク」により、全国5カ所の支援センターを結んで、最先端の研究開発が進行中。全国各地の研究機関や自治体、企業、

賢明な方々はスターバックスで「お茶」をなさった。人波を後に一路南へ。儒城のリベラホテルに荷物を置いて夕食は海鮮寄せ鍋。ホテルの大浴場の広さに仰天した。

群馬支部は現在会員数10名の小規模支部ですが、毎年ひとりずつ新入会員がふえ、その3名全員が入会後に「おめでとう」という嬉しいニュースをお届けします。

若い会員たちの活躍

群馬支部長 植原映子
産後、1カ月で参院選に出馬する。田中真紀子氏の応援演説の件では、あまりにも有名になってしまった。惜しくも次点であったが、事情を知る人々は「赤ちゃんと呼んだのだ」と言っている。

若手会員主宰の研究會募集
「若手会員育成金」は、第25回IFUW総会(於横浜)を記念し、若手会員(45歳以下)の人材育成を目的として設置されたものです。

大学の集まりが、県都・前後、横浜国立大学工学部「女性の会」の会長になったり、社会教育委員を委託されたり。ほとんどすべて参加している。

片道90分かかる太田市から参加している。

理事会報告から

- (社)大学婦人協会の推薦により、青木怜子さん(元JAUW会長)が「平成14年度文部科学省社会教育功労者」として表彰されました。(11月12日)
○2002年度国際奨学生のプレントリーさん(モンゴル)が10月19日に来日し、千葉大学で、環境問題についての研究を始められました。(国際奨学委員会)
○2002年度国内奨学生と社会福祉奨学生が決まりました。1月11日の「新春のつどい」で奨学金贈呈式を行います。(国内奨学委員会・社会福祉委員会)

「平成14年度内閣府男女共同参画社会づくり功労者」として、静岡敏子さん(茨城支部)と檜山洋子さん(広島支部)が表彰されました。(6月25日)

若手会員主宰の研究會募集

若手会員主宰の2003年度研究会を募集します。研究費は年間20万円で、2年間にわたる場合は40万円支給されます。現在は、石塚浩美さん(神奈川支部)を中心に、「女性と社会システムを考える会」が活躍中です。

若手会員の皆さん、斬新なアイデアに富んだ研究会を企画してください。応募締め切りは2003年1月末です。詳細は、本部へお問い合わせください。



中国茶館 銀座アスター

会費納入のお願い
今年度の会費は、もう納めてくださいましたか。未納の方は、お早目に、各支部を通してお納めください。
二〇〇二年十一月
会費委員会

新入会員 (27名) 2002年7月~10月 理事会承認

Table listing new members with columns for name, phone number, and address. Includes branches like 札幌支部, 仙台支部, 新潟支部, etc.